

令和6年9月11日
岐阜県病害虫防除所

トマトキバガによる食害に注意しましょう！

1 県内での発生状況

海津市および飛騨市に設置したフェロモントラップにおける誘殺数は7月以降増加し、夏秋トマト栽培ほ場の一部では、本虫による食害が散見されています。

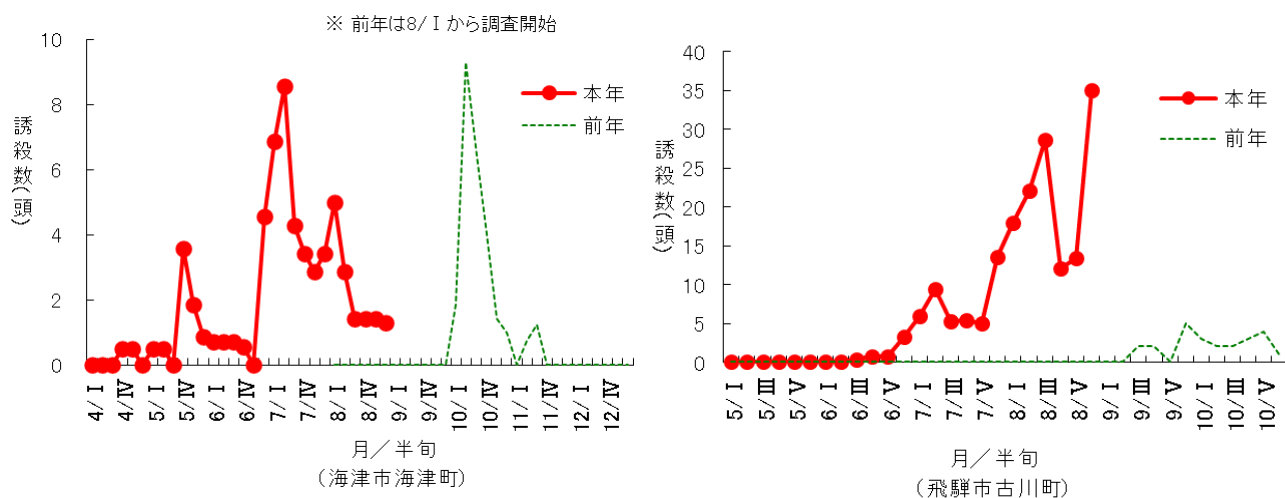
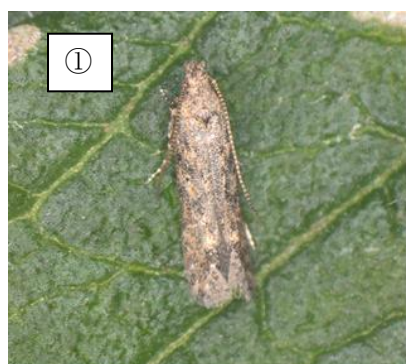


図 フェロモントラップにおける誘殺状況



① トマトキバガ成虫
(静止時体長約5～7mm)

② トマトキバガ幼虫
(終齢で約8mm)



③ トマト葉の食痕
(表面残り薄皮状となる)

④ トマト果実の食痕
(数mm程度のせん孔痕を生じる)

2 防除対策

ほ場内をよく見回り、葉や果実の食痕など早期発見に心がけるとともに、成・幼虫は見つけ次第捕殺してください。また、発生を拡大させないため、薬剤散布を行うとともに、被害葉や被害果はほ場に放置せず、速やかに土中深く埋めるか、ビニル袋に入れて一定期間密封し成幼虫を死滅させるなど、適切に処分してください。

なお、海外では薬剤抵抗性の発達が報告されることから、農薬選択にあたっては同一系統の薬剤連用は避けましょう（令和6年度病害虫発生予察特殊報第1号 R6.5.24付 <https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/400154.pdf> 参照）。

- ・ 農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・ 当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>